

令和2年11月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 工 藤 知 彦

市 民 ク ラ ブ 藤 枝 隆 博

フロンティア秋田 藤 田 信

共 産 党 鈴 木 知

公 明 党 牧 野 守

そ う せ い 小 松 健

秋 水 会 佐 藤 宏 悦

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

秋 水 会 赤 坂 光 一



1 市長の政治姿勢について

- (1) 3期目の市政運営についてどのように自己評価するのか、また、4期目に向かう決意はどうか
- (2) 本市がこれまで取り組んできた多核集約型コンパクトシティの推進と次期総合計画の基本構想（原案）に掲げる今後のまちづくりのモデルとの整合性について、どのように考えているのか

2 菅政権への期待について

- (1) 菅首相は地方の活性化を重視しているが、どのような政策の実施を望むのか、また、早期に政策を実施するよう、政府に働きかけるべきと考えるがどうか

3 令和3年度当初予算等について

- (1) 市内経済を回復させるため、新型コロナウイルス感染症対策について、予算を重点配分すべきと考えるがどうか
- (2) 一般財源ベースで、今年度よりも歳入を約34億円の減と見込んでいる反面、次期総合計画の戦略事業には、予算を優先的に確保する必要があるとして47億円を見込んでいるが、これまでと同水準の各種行政サービスをどのように維持するのか
- (3) 庁内の新規財源検討連絡協議会において、新規財源の確保に向けた検討状況はどうか、また、令和3年度以降における新規財源確保の見通しは立っているのか

4 少子化対策等について

- (1) コロナ禍において、全国的に出生数が減少しているとの報道があるが、本市の状況はどうか、また、本市で安心して子供を生み育てるための対応策についてどのように考えているのか
- (2) 本市独自に出産費用の助成を行う考えはないか

(3) 国は不妊治療の公的保険の適用範囲の拡大を検討し、年内にその工程を示すと表明しているが、本市独自の助成のあり方などを含めた今後の対応についてどのように考えているのか

(4) 社会全体で子育てしやすい環境づくりを推進するため、本市においても子育て応援リーダー宣言など、各種施策を実施しているが、どのような効果があったのか

5 コロナ禍における秋田港への影響等について

(1) 今後、クルーズ船の寄港回数の増加に向け、県と連携して運航会社に働きかけを行う考えはないか

(2) ことしのコンテナ取扱量は、過去最高を記録した昨年と比べてどの程度減少すると見込んでいるのか、また、今後も取扱量の減少傾向が続いた場合、本市経済に与える影響をどのように考えているのか

6 国際教養大学とのかかわりについて

(1) 本市では、これまでも同大学が有する知的財産やネットワークを生かした取り組みを行っているが、これまでの成果と課題をどのように認識しているのか

(2) 同大学の人材や研究分野を生かした新たな施策を検討してはどうか

7 雄和地域における雄物川流域の災害対策等について

(1) 国が進める雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業において、堤防整備に向けた新たな用地確保が必要となるが、用地交渉は順調に進んでいるのか

(2) 同事業の区域内にある橋梁の点検は行っているのか、また、その結果はどうか

8 秋田米新品種「サキホコレ」について

(1) 県では秋田米新品種ブランド化戦略を進めているが、本市では今後どのような取り組みを行っていくのか

## 9 タクシーの活用等について

(1) 路線バスやマイタウン・バスが運行していない地区において、タクシーが公共交通としての役割も担っていると考えられることから、次期秋田市公共交通政策ビジョンの中でタクシーを公共交通と位置づけ、新たな施策を実施すべきと考えるがどうか

### (2) 交通弱者への支援について

ア 身体障がい者の障がいの種類及びその程度に応じて通院用のタクシー券を交付しているが、交付要件を拡大する考えはないか、また、知的障がい者及び精神障がい者に対しても通院用のタクシー券を交付してはどうか

イ 自動車運転免許証を自主返納した高齢者を対象として、本市独自にタクシー運賃の補助を行う考えはないか

## 10 地域の課題について

(1) 携帯電話不感地域が現在も解消されていない現状をどのように考えているのか、また、事業者に対する働きかけを行った結果はどうだったのか



## 1 市長の政治姿勢について

- (1) 秋田市長として、本県出身の菅内閣総理大臣に期待する政治は何か、また、市政の要望事項等を県や県内各市町村と連携し、国に求めていく考えはないか
- (2) イージス・アショア配備計画中止に至った経緯の説明機会がほごにされたままであるが、今後も住民説明会の開催を求めていく考えはないか、また、配備候補地の再調査結果の公表を求めていくべきと考えるかどうか

## 2 コロナ禍における予算のあり方について

## (1) 令和2年度予算執行について

- ア 令和2年度予算において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、どのような影響を受けているのか
- イ これまで同感染症の感染拡大防止や中小地場産業、個人事業主などへさまざまな支援を実施してきたが、今後、追加の支援策を講じていく考えはないか

## (2) 令和3年度予算編成について

- ア 秋田市中・長期財政見通しに基づき、これまで年度ごとの予算編成を継続してきたが、令和3年度の歳入歳出をどのように見込み、予算編成を行っていくのか
- イ 歳入の減少が予想される中、令和3年度予算編成方針において戦略事業を積極的に進めるとしているが、戦略事業以外の予算削減により、市民生活に影響はないのか、また、財源確保に向けた考えはどうか

## 3 脱炭素社会の実現に向けた本市の取り組みについて

- (1) これまでの秋田市地球温暖化対策実行計画における温室効果ガス純排出量削減実績とその評価はどうか

- (2) 菅内閣総理大臣の温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロとする目標の宣言を受けて、現在改定作業中である本市計画の温室効果ガス削減目標や各部門別削減量に変更はあるのか
- (3) 地球温暖化対策の促進を図るために活動している秋田市地球温暖化防止活動推進センター及び推進員の活動実績と評価はどうか、また、今後の活動についてはどうか
- (4) 民間企業や環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、町内会等との連携を図り、環境保全、省エネルギー、二酸化炭素排出量削減などに取り組むべきと考えるがどうか
- (5) 地球温暖化の大きな要因となる二酸化炭素排出量の最も多い石炭火力発電所の建設について、建設計画の中止を事業者に申し入れるため、秋田県と協議する考えはないか
- (6) 今後、本市における再生可能エネルギー活用の一つとして、小水力発電を公共施設等に取り入れる考えはあるのか

#### 4 アニメーションによる本市の活性化について

- (1) 本市の魅力である観光・特産物・グルメ・文化芸術・スポーツ等の宣伝広報活動を充実させる一環として、民間アニメーション会社と連携したプロジェクトを立ち上げ、アニメーション動画をPR媒体とする考えはないか、また、その財源をふるさと納税やクラウドファンディングで募集する考えはないか
- (2) 若い人材の雇用機会拡大と人材育成を目指している民間アニメーション会社への支援策として、秋田公立美術大学及び同大学附属高等学院にアニメーターの育成とデジタル技術者を養成するカリキュラムを設ける考えはないか

#### 5 会計年度任用職員制度について

- (1) 同制度を導入した初年度として、導入後の状況を踏まえどう評価しているのか
- (2) 第1号会計年度任用職員（短時間勤務）と第2号会計年度任用職員

(フルタイム勤務)があるが、次年度に向けて業務量に対応し、第2号会計年度任用職員の採用人数をふやす考えはないか

- (3) 職場の実態と本人の希望に即して会計年度任用職員の勤務時間を柔軟に変更する考えはないか、また、任期や勤務時間が短いことにより、定期健康診断の対象外となっている会計年度任用職員に対しても、公費負担で健康診断を実施するべきと考えるがどうか

## 6 防災・減災教育について

- (1) 来年、東日本大震災から10年を迎えるが、防災・減災についての知識や震災の教訓を学ぶ機会を設けるために、防災研究者、被災者、ボランティア団体及び地域自主防災組織などとともに、防災・減災について考えるシンポジウムを開催する考えはないか
- (2) 市立小中学校における防災・減災教育の一環として、修学旅行などで被災地の震災遺構や東日本大震災津波伝承館等を訪れる機会を積極的に設ける考えはないか



## 1 市長の政治姿勢について

(1) 3期12年の市政運営の反省点は何か、また、その反省点を今後の市政にどのように生かすべきと考えているのか

## 2 新型コロナウイルス感染症について

## (1) 財政運営への影響について

ア 今年度の歳入は、当初予算に比べて幾ら減少すると見込んでいるのか、また、財源不足にどのように対応するのか

イ 今年度の歳出について、同感染症対策関連の事業費総額を幾らと見込んでいるのか、また、その財源を捻出するために、不急な事業の中止や先送りなどで見直すことのできる事業費は幾らあるのか

ウ 令和3年度当初予算の歳入及び歳出に与える影響をどのように分析し、予算総額をどのように見込んでいるのか

エ 来年度以降のウイズコロナ、アフターコロナの状況下において、秋田市中・長期財政見通しをどのように作成していくのか

(2) 同感染症の影響により、子育ての負担増加や世帯収入の減少などが生じている多子世帯への支援として、本市独自の新たな給付金の支給や児童手当などへの上乘せを考えるべきではないか

(3) 市立小中高等学校等の卒業式や入学式への保護者の出席を制限する際の判断基準はあるのか、また、制限した場合には、保護者に対してどのような対応をするのか

## 3 外旭川複合施設構想について

(1) 構想内容の見直しにより、市街化調整区域において開発を認める可能性や、市街化調整区域から市街化区域への変更及び農用地区域からの除外により開発を認める可能性はないのか

## 4 新スタジアムの整備について

- (1) 卸売市場再整備後の市場用地に余剰地が生じる見通しであることから、外旭川地区を候補地の一つとして検討するとしていたが、具体的な候補地選定の状況はどうか
- (2) 整備主体や運営主体のあり方、費用負担のあり方などの調査・検討の状況はどうか、また、整備の是非に係る判断材料は整理されたのか
- (3) 知事が新スタジアム整備に前向きと受けとめられる発言をしているが、市長の考えはどうか

## 5 自転車活用の推進について

- (1) 自転車の利用促進について、第2次秋田市総合交通戦略の取り組みをどのように評価しているのか、また、それを受けて、現在策定中の第3次秋田市総合交通戦略にどのように位置づけるのか
- (2) 本市における自転車活用を総合的かつ計画的に進めるため、自転車活用推進法第11条に定める市町村自転車活用推進計画について、自転車ネットワーク計画も含め、秋田県自転車活用推進計画を踏まえながら、本市独自に策定すべきではないか
- (3) 県の「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（仮称）」の制定に向けた検討会に本市も参加しているが、自転車事故に関する損害賠償責任保険への加入義務化について提案する考えはないか
- (4) 自転車の通行空間の確保について、通行空間の連続性や交差点での安全性の向上が大きな課題ととらえられているが、課題解決に向けた研究の状況はどうなっているのか
- (5) 自動車利用を自転車利用に転換するための意識啓発について、取り組みの効果はどうか
- (6) コミュニティサイクルの導入について、民間企業の活用や交通系ICカードによる利用も含めた調査・検討の状況はどうか
- (7) 国の自転車活用推進計画に位置づけられている自転車通勤制度の導入について、ノーマイカーデーに参加しているエコ意識の高い事業所への啓発の効果はどうか

## 6 身寄りがない人の入院及び葬儀等について

- (1) 意識不明や意思疎通が困難な状態で入院した場合、親族等へ連絡する必要があるが、医療機関での対応には限界があるため、市が親族等の所在地を調べて連絡することはできないのか
- (2) 厚生労働省から保健所設置市等に通知された「身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」では、「親族等がない場合の遺体・遺品の引き取り・葬儀等については市町村が行うこととなります」と記載されているが、本市の対応はどうか、また、親族等の所在地の調査も含め、墓地、埋葬等に関する法律第9条第1項の規定に基づいた対応を、本市として積極的に行うべきではないか
- (3) 同ガイドラインでは、医療機関に対して、市町村の窓口となっている課や部などに手順を確認しておくことを推奨しているが、本市の担当窓口はどこか、また、その手順は定められているのか

## 7 買い物弱者問題について

- (1) 買い物弱者の問題は、高齢化の進展、公共交通の衰退及び地元小売業の廃業などさまざまな要因により発生しているため、部局横断的な対応が必要であるが、市としてどのように受けとめているのか、また、今後の対策はどうあるべきと考えているのか

## 8 産業振興について

- (1) 市内企業が岩見三内地区にウイスキー蒸留所を建設し、観光・宿泊施設の整備も構想しているが、本市として具体的にどのような支援を考えているのか、また、あわせて市としても周辺の自然環境や温泉施設を活用した滞在型の健康保養地づくりに取り組む考えはないか

## 9 地域の課題について

- (1) 中国蘭州市との友好提携を記念して建てられた一つ森公園の友誼亭は、建築後33年が経過し、損傷が見られることから立入禁止となって

いるが、令和4年の友好都市提携40周年を迎えるに当たり、早急に修復整備を行うべきではないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 核兵器禁止条約について

ア 市長は、同条約が来年1月22日に発効されることに対して、どのような見解を持っているのか

イ 唯一の戦争被爆国として、同条約への署名及び批准を政府に求めるべきではないか

2 コロナ禍における市政運営等について

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大が進行する中、市長は、地方自治体の首長として、さまざまな判断が求められるが、市民の生命、安全安心な暮らしを守ることなど、コロナ禍を乗り越える覚悟を市民に示すべきではないか

(2) 行財政運営について

ア 本市の厳しい財政状況下においては、市民の生命と暮らしを守ることを最優先に歳入に見合った運営を行うべきではないか

イ 地方自治体が行う支援、経済対策等は、地域の実情に応じたきめ細かな対応が求められるが、本市では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い方として公平かつ適切な対応がなされているのか

(3) 安心して暮らせるための方策について

ア 市民が安心して生活し、経済活動を行うためにも、PCR検査を拡充するべきではないか

イ これまで本市独自の支援対象となっていない大学生、非正規労働者等への支援策を検討するべきではないか

ウ 特別定額給付金は、同感染症緊急経済対策として家計への支援が行われたが、給付基準日以降のことし4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子供にも本市独自に給付金を支給するべきではないか

エ 新型コロナウイルス感染症に係る国民健康保険税の減免は、来年度も実施するべきではないか

### 3 災害への備えについて

#### (1) 災害危険箇所について

ア 市が管理する河川のはんらんの危険性がある箇所の把握及びパトロールは適切に行われているのか、また、関係機関との情報共有及び連携は十分に図られているのか

イ 市民から寄せられる情報を受け付ける窓口の設置が必要ではないか

(2) 河川のはんらん、土砂災害が発生した場合における通報先について、市民に周知するべきではないか

#### (3) 避難所等のトイレの整備について

ア 車いすやオストメイトに対応していない指定避難所のトイレは、改善を図るべきではないか

イ 指定緊急避難場所に設置されているトイレは洋式化し、常時使用できるようにするべきではないか

### 4 市民の文化活動の振興について

#### (1) 「アーツ秋田構想」について

ア 「アーツ秋田構想」とは何か、また、同構想は、本市の施策にどのように位置づけられているのか

イ 同構想にまとめられている芸術文化によるまちづくりの方向性は、文化芸術基本法の基本理念とも合致すると考えられることから、同構想を踏まえ、本市における文化芸術推進基本計画の策定に向けて検討するべきではないか

ウ 同構想に掲げる文化創造プロジェクトは、本市の文化振興施策にどのように位置づけられるのか、また、どのように事業を評価するのか

エ 同プロジェクトは、単なるイベントではなく、市民による創造と

活動を推進するための体制を整え、進めていくべきではないか

(2) あきた芸術劇場について

ア 同劇場は、秋田市文化会館、秋田県民会館にかわる施設として建設中であるが、学校行事などでこれまで当該施設を利用してきた市民が利用できる施設となり得るのか、また、中ホールは市文化会館大ホールのかわりとなる機能はないのではないかと

イ 中ホールにおける音響反射板の設置について

(ア) 中ホールは、「演者の肉声や直接音が明瞭に伝わるホール」と説明されているが、音響反射板がなくても合唱や楽器演奏等の際は十分に機能するのか

(イ) 収納式の音響反射板が常設されている市文化会館大ホールにおいて、「演劇、舞踊・舞踏、大衆芸能、映画、式典という音響反射板を使用しない利用が45%くらいあった」と説明しているが、中ホールに市文化会館と同様の収納式の音響反射板が設置されても支障がないのではないかと

(ウ) 音響反射板のない舞台芸術に特化した中ホールは、全くの新しい機能を持ったホールであり、別途音響反射板を設置する議論をするべきではなかったのか

(エ) 移動式音響反射板の選定は進んでいるのか、また、その選定に当たっては、関係団体からの意見は聞いているのか

(オ) 音楽関係者からは、中ホールに音響反射板が設置されないことに納得がいかないことから、本市議会に対し請願、陳情が連続して提出されているが、改めて関係団体との協議が必要ではないかと



1 コロナ禍における本市の財政状況等について

(1) 市内経済の状況について

ア 現在の経済状況について、どのように分析しているのか

イ コロナ不況が長期化する中で、市内事業者は再び資金繰りが苦しくなってきたおり、市としても引き続き有効な支援策が必要と考えるが、市長の考えはどうか

(2) 今年度における市税収入等の減収の影響についてどのように分析し、それを踏まえて来年度はどのように対応していくのか

(3) 来年度予算について、市長説明で、「健全な財政運営を維持していくため、戦略事業以外の政策経費を20%、経常経費を5%削減するなど、限られた財源のもと、これまで以上に事業の取捨選択や見直しを徹底しながら編成」するとしているが、この予算編成方針に対する具体的な考えはあるのか

2 本市行政のデジタル化について

(1) 国の新たなIT戦略を踏まえた本市の今後の取り組みについて

ア 庁内におけるCIO（最高情報責任者）の役割は何か

イ デジタル化のための庁内組織を新設するに当たり、どのような人材を配置する考えなのか

ウ デジタル化を進める上で、部局横断的に業務を行う職員や既存のシステムから新たなシステムへの移行が必要となるが、その対応をどのように行うのか

エ 生産性向上や費用対効果の観点から、デジタル化に移行できない業務をアウトソーシングする考えはないか

オ テレワークを進めるに当たっては、セキュリティー対策や財政的負担などの課題は多いと考えるが、その実現性についてはどうか

3 地域交通の維持について

- (1) 次期公共交通政策ビジョンの策定に当たり、公共交通空白地域における対応について、どのように盛り込んでいくのか
- (2) 現在、一部路線で導入しているデマンド型のマイタウン・バスについて、公共交通空白地域の解消のため、路線の拡充及びICTを活用した運行システムの導入を検討してはどうか

#### 4 空き家問題について

- (1) 危険な空き家と空き地に関する苦情・相談への対応に当たり、指導・勧告の措置に応じない場合は、どのような対応をとっているのか
- (2) 空き家問題の原因に、再建築不可物件が理由となる場合があるが、本市として市内における当該物件の所在を把握しているのか、また、対策・救済措置の考えはあるのか
- (3) これまでの空き家の利活用についての取り組み及び今後の方向性はどうか

#### 5 農地つき空き家の利活用による定住促進の取り組みについて

- (1) 市が把握している農地つき空き家の戸数は、令和2年12月1日現在で空き家バンクに登録されている1件だけであるものの、それ以上に、空き家として把握すべき物件があると考え、ワーケーション等への利活用を考えると、実情をさらに把握すべきではないか
- (2) 秋田市への移住促進などの理由から、空き家バンクと農業委員会の手続を連動させ、空き家バンクに登録された空き家に付随している農地の下限面積を1アール程度まで引き下げる取り組みを行ってはどうか

#### 6 農業振興について

- (1) 秋田市園芸振興センターの新規就農研修生に対して、研修中における生活面の支援や、修了後の受け入れ先の確保などは配慮されているのか
- (2) 小規模農家や集落共同活動等への支援のあり方を見直さなければ、

農地の維持は今後困難になると思うが、どのように考えているのか

(3) スマート農業について

ア 本市のスマート農業を普及・拡大させるための中心的な組織を設置する考えはないか

イ スマート農業では、その特性上、ICTを活用する場面が多く、特に高齢の就農者にとって、ICTの使用が弊害になるという問題があるため、この対応策としての、ICTリテラシー向上のための教育や操作方法を教える人材育成が必要と考えるが、本市としてどう考えているのか

ウ スマート農業は、「製品・サービスのコストが高いこと」が課題であり、導入できる生産者が限定的であるという問題があるが、設備投資過多で所得が不安定にならないためにも、マネジメントを含めた経営戦略を相談できる人材を登用してはどうか

7 引きこもり支援について

(1) 令和元年度以降、引きこもり者数の把握は本市で行っているのか

(2) 本市において、引きこもり支援に特化した窓口を設置してはどうか

(3) 特に中高年の引きこもりの把握が難しいとされているが、理由は何か

(4) 支援のあり方についての検討の進捗状況はどうか

8 防災・減災について

(1) 通行の安全・安心を確保する上で、道路陥没を未然に防ぐことは重要であると考えますが、本市として道路の空洞化調査をする考えはないか

(2) 地域の防災活動や災害発生時に住民のリーダー役となる「防災士」が必要と考えるがどうか

(3) 地域防災の柱である消防団と自主防災組織の連携はどのように図っているのか



1 ウイズコロナ・文明史的転換について

(1) コロナ禍から市民生活を守る取り組みについて

ア 感染拡大時における危機管理について

(ア) 爆発的感染の事態が生じた場合における検査及び医療提供体制は万全の構えとなっているのか

(イ) 外出自粛要請などの感染拡大防止策は、知事の裁量として地域の実情に応じて積極的に対応することが求められているが、知事による総合的判断に反映させるための本市独自の目安等を設定する必要はないのか

イ 経済支援策について

(ア) 今後、コロナ禍の影響が長期化かつ甚大化すると見込まれる場合において、財政調整基金の活用などによる、市民生活や事業活動を支えるための本市独自の支援策を講ずる考えはあるのか

(2) 持続可能な行財政運営について

ア 市税収入など、今後の歳入をどのように見込んでいるのか、また、持続可能な行財政運営の確立に向け、今後どのように取り組んでいくのか

(3) 地方回帰の流れの創出について

ア 東京圏から秋田市へ。移住・定住・交流など、地方への人の流れを確かなものとするため、本市ではどのような戦略が練られているのか

(4) 人権課題について

ア 人権課題の現状をどのようにとらえているのか、また、人権課題の解消等を図るため、今後、どのような方針、体制及び施策で臨んでいくのか

イ 子供の人権・人格が尊重・擁護される社会環境づくりを図るため、児童の権利に関する条約及び、いわゆる秋田市子ども条例の理念や精神を踏まえた人権教育・人権啓発活動の推進に向け、さらに注力

してはどうか

(5) 格差問題について

ア 格差社会をどのように認識し、また、内在する行政課題をどのようにとらえているのか

イ 本市における貧困の実態並びに生活困窮者に対する支援策の現状及び課題について、どのように把握・認識しているのか

(6) 地域力の強化について

ア 安心安全な地域社会づくりを進める上で急務とされる地域福祉力及び地域防災力の育成・向上を図るため、どのように取り組んでいくのか

(7) 産業力の強化について

ア コロナ禍における本市の産業構造の変化・進展状況を見きわめながら、本市の強みと特色を生かした産業力の強化に向けた取り組みが重要となっているが、その戦略をどう描いていくのか

イ スキルの格差、就業・雇用形態の多様化等が進展するデジタル時代における本市の労働政策について、どうあるべきと考えているのか

ウ 中小企業及び農業分野における海外販路の開拓・拡大に資するため、どのような支援策を講じていくのか

エ AI・ICT投資の加速などによる生産基盤の強化への取り組みとともに、食料自給率の向上に資する攻めの農業・農政の展開を図るため、どのような戦略を描いているのか

オ 地域経済の振興と地域の魅力創造を図るため、公民連携などの手法による民間活力の活用と導入に向け、注力してはどうか

(8) 文化力の向上について

ア 文化力の向上を図るためのウイズコロナ時代における文化芸術支援は、いかにあるべきと考えているのか

イ デジタル公共空間の活用による表現・配信活動の活発化など、文化芸術を取り巻く大きな環境変化を機に、本市において、文化芸術を市政各分野との多面的な連携による総合政策として推進するため

の基本的な指針として、文化芸術基本法の規定に基づく「地方文化芸術推進基本計画」を策定してはどうか

(9) 市政運営における基本理念について

ア ウイズコロナにおける個人の価値観や社会の大きな変化の動向をどのように読み解いているのか、また、それを踏まえて、将来にわたり持続可能な魅力ある都市の形成を図っていくため、市政運営においてどのような基本理念を打ち立てていくのか



1 新型コロナウイルス感染症への対応について

- (1) 本市はこれまで同感染症対策をどのように行ってきたのか
- (2) 秋田県が、「ウィズ・アフターコロナ秋田ビジョン」を発表したが、秋田市版のビジョンを打ち出す考えはないか
- (3) リモートワークなどの普及による、本市への企業の移転や従業員の移住などの効果をどのように分析し、今後、どのように施策に生かしていくのか
- (4) コロナ禍における本市の産業構造の変化を、どうとらえているのか
- (5) 本市の各種計画や施策にどのような影響があるのか

2 デジタル市役所の実現に向けた取り組みについて

- (1) 来年度、行政手続のデジタル化推進に向けた、新たな組織を立ち上げるとのことであるが、どの程度の組織規模で、どのような取り組みを行うのか
- (2) デジタル市役所の実現により、市民サービスはどのように変わり、市民の暮らしはどう変わっていくのか

3 (仮称)家庭教育支援条例について

- (1) 家庭教育支援の現状と今後について、本市としてどうとらえているのか
- (2) (仮称)家庭教育支援条例の制定に、今後、取り組む考えはあるのか

4 青少年対策の充実について

- (1) 本市における青少年の地域交流活動などの現状と課題は何か、また、それを踏まえてどのように将来へつなげていくのか
- (2) (仮称)青少年課を設置すべきと考えるがどうか

5 本市における性教育について

- (1) 子供たちが、性犯罪や性暴力の被害に遭わないようにするための性教育の現状はどうか
- (2) 性教育にしっかりと取り組むべきではないか

6 本市農業の諸課題について

(1) ため池等の現状と課題について

ア 防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法の概要はどうか、また、本市としてどう対応していくのか

イ 市内の老朽化したため池等の現状と課題をどのようにとらえているのか

ウ ため池等や水田を活用した豪雨対策の現状はどうか、また、今後、県が定める防災工事等推進計画において、老朽化したため池等への対応を本市としてどのように考えているのか

(2) 農業就労者への求職者情報提供などの支援について

ア 秋田市園芸振興センターの研修生は、修了後も同センターとかかわり合いはあるのか、また、修了後の支援はどのようなになっているのか

イ 修了後の就農実態と離農状況はどうか、また、離農の原因は何か

ウ 農の雇用事業や、一步先行く農業法人フォローアップ事業補助金など、各種雇用助成金の実績と課題は何か

エ 各種助成金制度について広く制度の周知を図り、さらに普及させるべきと思うがどうか

オ 新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた、秋田市園芸振興センターにおける就農研修の新しい取り組みはどうか

(3) 海外への農産物販路拡大に関する本市の役割について

ア 輸出相手国のニーズに合わせた農産物の栽培や、農産加工、グルテンフリー、ビーガンなどの研究や普及などを、本市が主導すべきではないか

(4) 農業経営の収入保険加入者に対して、本市独自に助成を行う考えは

ないか

(5) 近年の急速な農業経営環境の変化に適応できない農業従事者への対応をどのように考えているのか

(6) 農福連携の現状と今後の取り組みはどうか

## 7 人口減少対策について

(1) 秋田市人口ビジョン（改訂原案）の人口規模別の推計をどのように認識しているのか、また、今後の対策をどのように考えているのか

(2) 全市民を対象に、町内会やさまざまな組織などを通し、10年後、20年後の未来を話し合う機会を創出し、将来の自分たちの地域や家族を考えるきっかけにしてはどうか

## 8 卸売市場の再整備及び新スタジアム整備について

(1) 卸売市場再整備時期の前倒しの理由は何か、また、次期総合計画や次期総合都市計画と並行して検討するとのことであるが、その理由は何か

(2) 卸売市場の新しい規模について、2019年の取扱高から、現在の65%の規模が目安と説明があった後、変更されたが、その経緯と変更内容はどうか

(3) 新スタジアム整備候補地について、卸売市場の再整備による余剰地が検討対象となり得るとの認識に変わりはないか、また、他の候補地の検討はしているのか

(4) 両整備は、外旭川地区のまちづくりとどのように関連するのか

## 9 外旭川地区のまちづくりについて

(1) 同地区の、さらなる具体的なまちづくりについて明言できないか

(2) 次期総合計画及び次期総合都市計画に対する、同地区のまちづくりに関する市民要望や意見をどのように反映するのか

(3) イオンタウン株式会社からのさまざまな提案について、どのように評価しているのか



1 市政運営に対する市長の基本姿勢について

(1) 市長が、引き続き市政を担うとすれば、最も実現したいことは何か

(2) 第14次秋田市総合計画（原案）等について

ア 新・県都『あきた』成長プランから、県都『あきた』創生プランとした政策的根拠は何か

イ 秋田市人口ビジョン（改訂原案）において、2040年に約26万人の将来人口を目指すとしているが、特に生産年齢人口を確保するための具体的戦略は何か

ウ 創生戦略（案）に掲げる温室効果ガスの排出抑制による「ゼロカーボン」推進の具体的な施策はどうか

エ 本市におけるデジタル化推進の方向性とその具体的な施策はどうか

(3) 外旭川地区におけるまちづくりについて

ア 第7次秋田市総合都市計画において、北部地域における「泉外旭川駅」との連携強化を図るため、同地区のまちづくりの将来像を具体的に示すべきと思うがどうか

イ 卸売市場の建てかえ、新スタジアムの整備、複合商業施設開発構想については、市長の政治的判断と思うがその見解はどうか

2 令和3年度予算編成等について

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止・経済対策での本市財政への影響はどうか

(2) 次期総合計画における戦略事業の一般財源所要額を47億円と見込んでいるが、重点施策は何か

(3) 次期総合計画における戦略事業以外の政策経費を前年度比20%、経常経費を前年度比5%削減としており、市民生活に必要な市民サービスに悪影響を及ぼすと考えるが、このような削減をいつまで続けるのか

(4) 新規財源を確保するため、公有財産の未利用地・未利用施設の売却や長期的ネーミングライツなどを積極的に進めるべきではないか

### 3 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応策について

(1) 同感染症の拡大防止に生かせるよう情報を迅速に共有するため、自主的な情報公開を促すべきではないか

(2) 中小企業において、経済的な理由などで閉鎖・廃業により解雇や雇いどめが発生しているが、どのように認識し、その対策を考えているのか

(3) 客足の遠のいている飲食店街について、従業員へのPCR検査の実施により市民が安心して飲食店へ足を運べるような支援を行ってはどうか、また、飲食業の関係団体への経済的支援などを検討すべきと思うかどうか

(4) 地域活動などにおいて、同感染症収束後の回復策が今後の課題となるが、どのように考えているのか、また、薄れている仲間づくりや人と人とのきずなづくりを推進すべきと思うかどうか

### 4 教育・文化財行政及び児童虐待防止について

(1) 秋田市文化財保存活用地域計画の策定等について

ア 秋田市内の国、県、市指定の有形・無形・民俗文化財、記念物及び登録文化財、合わせて338件の管理・活用はどのような状況か

イ 来年度から3カ年で策定予定の同計画について、基本方針をどのように考えているのか

(2) 秋田市社会教育中期計画について

ア 第5次計画の成果と課題はどうか

イ 各市民サービスセンターにおける生涯学習事業を通じた地域コミュニティづくりを、第6次計画ではどのように展開していくのか

ウ 第5次計画の計画期間を令和3年度まで1年延長したが、新型コロナウイルス感染症対策などを含めて、緊急的な対応が必要ではないか

(3) 児童虐待防止について

ア 本市における児童虐待の相談件数の推移及び相談内容などをどのようにとらえているのか

イ 児童虐待を早期発見するため、どのような活動をしているのか、また、児童虐待を未然防止するための対策はどうか

5 人事管理・組織体制について

(1) 職員のやる気を引き出すための取り組み及び職員配置について、どのように考えているのか

(2) 再任用職員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げるなど、職務経験を生かした人材活用をしてはどうか

(3) 教育委員会の生涯学習室と子ども未来部の子ども未来センターの職員は、多数の職員が併任となっており、本庁と本庁から離れた同センターでの業務となるが、業務に支障はないのか

6 土地区画整理事業及び都市計画道路の見直しについて

(1) 施行中の土地区画整理事業の見直し及び長期未着手区域の見直しの予定はどうか

(2) 長期未着手の都市計画道路の見直しの状況はどのようになっているのか

7 スポーツ行政について

(1) 各地域において、スポーツによる三世代交流を計画すべきではないか

(2) スポーツ施設整備の現状はどうか、また、その対応はどのように考えているのか

8 地域の諸課題について

(1) 大住・みなみ野団地線のバス回転地及び停留所等について

ア 牛島清水町市営住宅地内、または周辺空き地にバス回転地及び停

留所を設置できないか

イ 減便や時刻の改正について、地域住民と協議するよう市からバス事業者に働きかけるべきではないか

(2) 古川流域の総合的な治水対策について

ア 同対策におけるそれぞれの進捗状況はどうか

イ 降雨時は農業関係との連携が必要と考えるが、その対応はどうか

(3) クマの被害の現状はどうか、また、その課題及び防止策はどうか

1 人口減少社会への対応策について

- (1) 今後、これまで以上に財源不足が予想され、より一層効率的な行財政運営が必要とされる中、市民理解を得ながら市政運営を進めるためには、本市が目指すまちづくりのビジョンを次期総合計画等で市民にわかりやすく示すべきと思うがどうか
- (2) 若者が本市に住み続け、結婚や子育てを安心して行うためには何が必要と考え、どのような取り組みを行っているのか、また、それらの取り組みの効果をどのように検証・分析しているのか
- (3) アフターコロナの社会減の対応策として、若者が本市に住み続けながら希望する仕事につけるよう、リモートワークを行いやすい環境整備や企業への働きかけを県と連携して行ってはどうか

2 地域資源を生かしたまちづくりについて

- (1) 地域資源を生かしたまちづくりをどうとらえ、どのような取り組みを行っているのか
- (2) 地域資源の掘り起こしなど、地域おこし協力隊員の取り組みの現状はどうか
- (3) 市民とともに検討している秋田市シティプロモーションモデル事業の取り組み状況はどうか、また、市民が気がつきにくい本市の魅力について、移住者や県外出身者の意見などから、掘り起こす必要があると思うがどうか
- (4) 太平山リゾート公園や浜田森林総合公園（梅林園）など、自然豊かな公園は本市の魅力であり、地域資源であることから、訪れやすく、楽しんでもらう仕掛けづくりやPRをすべきと思うがどうか、また、太平山スキー場の冬季以外の活用方法を検討してはどうか

3 認知症への取り組みについて

- (1) 認知症の方が暮らしやすい環境をつくるため、本市の取り組み姿勢

などを盛り込んだ条例を設定してはどうか

- (2) 本市における認知症の早期発見・治療の取り組みはどうか、また、パソコンやスマートフォンにより、認知症と思われる言動をもとに簡単にチェックできるソフトを導入してはどうか
- (3) 認知症高齢者の見守りについて、本市の取り組みはどうか、また、大館市の「徘徊高齢者見守りシール」のような新たな取り組みを検討してはどうか

#### 4 大森山動物園について

- (1) 今後、同園が果たす役割や目指すべき方向性について、構想や方針を策定し明示すべきと思うがどうか、また、動物園に求められる社会的役割をより具体的に条例に盛り込む検討をしてはどうか
- (2) 動物福祉に配慮した取り組みの現状はどうか、また、今後の施設整備においては動物福祉への配慮が求められていると思うが、新サル舎及び老朽化している他の施設の状況はどうか
- (3) 今年度から新たに配置された動物専門員とこれまでの飼育担当の職員との業務等の違いは何か、また、来年度以降、同専門員の採用は予定しているのか
- (4) 同園の入園料の減免制度について、70歳以上の方の利用状況はどうか、また、札幌市の円山動物園で行っているような独自の証明書を発行するなど、同制度の周知を図る工夫をすべきと思うがどうか
- (5) 同園の観光面の魅力を向上させるため、秋田の名産品や名物料理等を取り扱うよう、同園内に県内・市内の店舗を募集してはどうか

#### 5 人事について

- (1) 施設の館長への職員の登用に当たっては、正職員をふさわしい役職をもって充て、再任用職員は豊富な知識と経験を踏まえ、補佐的ポストに配置すべきと思うがどうか

#### 6 地域の諸課題について

(1) 日新小学校の建てかえについて

ア 同校の将来の学習環境を見据え、敷地を拡張した上で現地建てかえを行うべきではないか

イ 新屋地区の地域特性や地域の景観との調和を考慮し、同校の新校舎を木造とする考えはないか

(2) 新屋ガラス工房について

ア 同工房の来館者及び売り上げの減少をどのようにとらえ、その回復策をどのように考えているのか

イ 同工房の来館者をふやすためには、再度訪れたくなるような取り組みを行い、リピーターをふやす必要があると思うがどうか

ウ 同工房の目的の一つである地域資源を生かした住民主体のまちづくりについて、コロナ禍及びアフターコロナにおいてどのように取り組んでいくのか